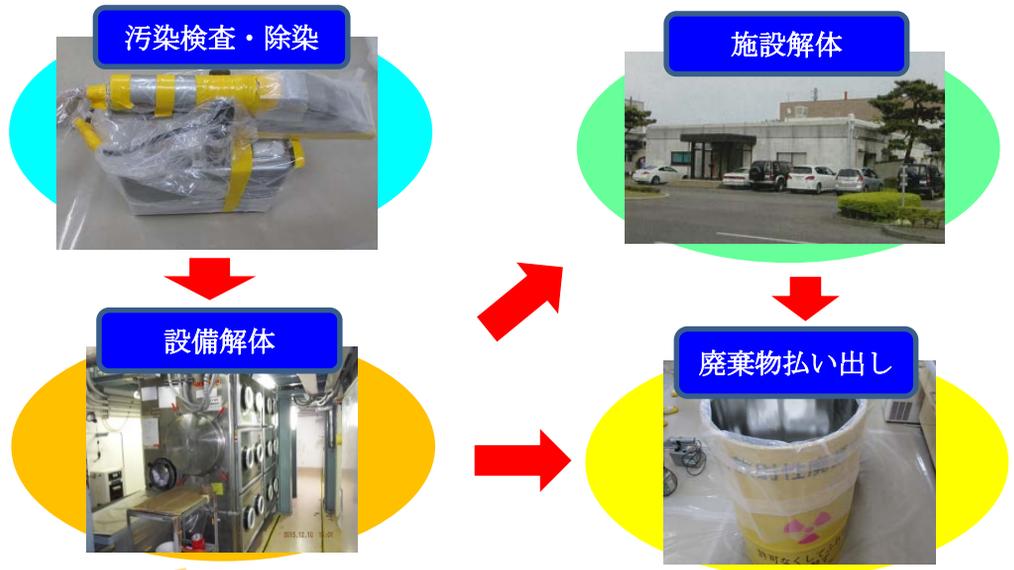


## 施設の廃止措置 (施設の解体)

放射性物質(ウランやプルトニウム等)を取り扱った施設の廃止措置を行う。

- グローブボックス(GB)の解体
- フードの解体

～廃止措置の流れ～



解体設備例 (フード)



グローボックス線量測定



フード解体例  
(グリーンハウス設営作業)

### ・プルトニウム抽出試験室のGB解体

- ・GBが大型であり、試験室内の作業スペースがなく、解体方法等に工夫が必要。
- ・GB内に設置された試験装置が密集しており、専用の解体機器が必要。
- ・GB内は核燃料物質による汚染レベルが高く、安全に配慮して作業をすることが必要。

➔ 新たな解体手法を開発するためモックアップ試験を2019年度も継続実施

### ・B棟フード等の解体

- ・B棟の廃止に向け、管理区域の解除を目標にフード等の解体が必要。
- ・低コスト且つ安全な解体方法を検討のうえ、確実に廃止措置を進めることが必要。

➔ 2019年度、一部のフードを解体